

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的に応じて文章や図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つける力が身に付いている。
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができている。
- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られる。

【算 数】

- 図形の性質を基に、コンパス等を用いて作図をする力が身に付いている。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出す力が身に付いている。
- 複数の資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表して計算することに課題が見られる。

【理 科】

- 問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察や実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができている。
- 解けた氷が海に流れていく根拠について、理科で学習したことと関連付けて、概念的に理解する力が身に付いている。
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を身に付けることに課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 学校や家庭での読書習慣が身に付いている。
- 「いじめは絶対に許さない」という規範意識が身に付いている。
- 困りごとや不安なことを、教師や学校にいる大人に相談することができていない。
- よりよい友人関係の構築に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・課題選択場面や交流場面における ICT 活用
- ・全校での授業改善の推進（表現・交流活動を取り入れた授業）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・個別最適な学びをつくる指導過程の構築
- ・当該学年で身に付けるべき基礎的・基本的な力の定着に向けた授業改善
- ・国語科、算数科の基礎的・基本的な力の定着を目指した、全校統一形式の家庭学習プリント

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・図書委員会による学級文庫の貸し出しや週1回の図書の貸し出し推進、図書司書による各学級の読書量の校内掲示
- ・自己有用感や最後までやり抜く力など非認知的な能力を育成する縦割り活動などの取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・教師の日常的な声掛けや積極的な関わり、子どもが安心して過ごせる場づくり
- ・定期的なソーシャルスキルトレーニングや相互カウンセリングの実施